

カーボン・オフセットフォーラム オープンセミナー & 第5回課題別ワークショップ (2008年11月18日) **アンケート集計結果**

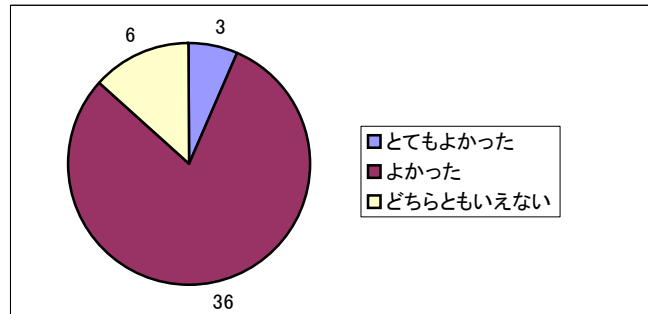
アンケート回収総枚数: **45枚**

課題別ワークショップに関するアンケート結果

1. 本日の課題別ワークショップのご感想は？

表 集計結果

とてもよかった	3人
よかった	36人
どちらともいえない	6人
よくなかった	0人
悪かった	0人



➡ 具体的には…

とてもよかった	<ul style="list-style-type: none"> ■ J-VER やラベルが発表された直後とあって意見がすぐ先の話が聞けてよかった。 ■ あんしんプロバイダーの仕組みがわかった。
よかった	<ul style="list-style-type: none"> ■ あんしんプロバイダーの概略が確認できたから。 ■ ただし進行速くついていくのが大変だった。 ■ 問題が明らかになってよかった。 ■ 認証についての細かいルールがわかった。 ■ まだ解決すべき点が明確になった。
どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> ■ カーボン・オフセットの具体例は理解できたが、課題別ではなくトータルに理解する場がほしい。 ■ 初めての参加で話についていけなかった。継続して参加するようになりたい。

2. カーボン・オフセットに対する第三認証機関による認証についてご意見・ご要望をご記入ください。

- 認証費用の程度が気になる。普及の障害にならない程度に。
- 認証取り消しへの対応は民事でなく規定が必要。
- 委員メンバーが官学中心なため、民の意見が届かないのでは？
- この制度はまず普及ありきで作り上げたものなので、抜けている点が多々あり、今後の実情を踏まえた改訂が必須と思われる。これをやらないと信頼を失ってしまう。
- 物流について、東京から北海道や沖縄など遠方の場合、地域によって表記(認証)をエリア別に申請を行わなくてはならないので、詳細を知りたい。
- 迅速な対応が必要。
- 概要としてよくわかった。
- 認証費用をおさえることが必要。
- 第三者認証は必ずいる制度。
- 新規参入事業者に対するハードルにならないように考慮すべき。
- 申請から認証までの期間はできるだけ短いほうがよい。

- 大企業にとってはたいしたことないかも知れないが、費用が気になる。大企業だけの認証制度にならないか？
- 極力簡便に。

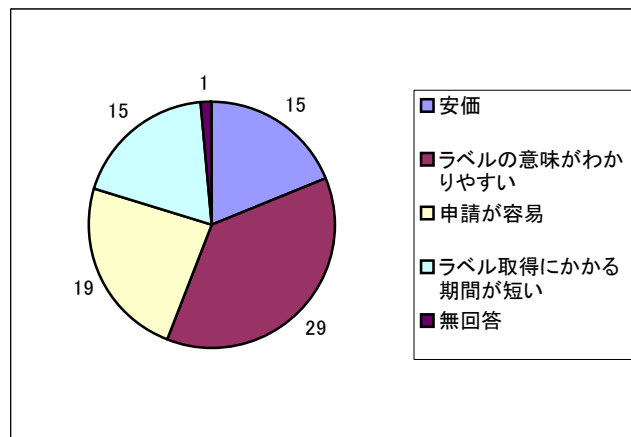
3-1. カーボン・オフセットに関するラベルのあり方についてご意見・ご要望をご記入ください。

- シンプルなラベルが良い。
- 排出量の算出方法を普及していただきたい。
- ラベルに多くの情報を載せるのもかえってわかりにくいものになるのでは。他のマークは何故みなシンプルなのかを参考にしてください。
- 費用がかかりすぎると普及の障壁となるのでは？
- フットプリントラベルとの整合性または差異の明確化が必要では？
- 消費者にわかりやすいラベル。
- 親しみやすいラベル、成分表示のような簡素なもの。
- ラベルを印刷した個装箱の製作数量の管理はどうするの？
- シンプルで見やすい方式がよい。基準制度の明確化が必要。

3-2. 広くラベルが普及するにはどのような条件が必要だと思いますか？(2つまで選択可)

表 集計結果

安価	15人
ラベルの意味がわかりやすい	29人
申請が容易	19人
ラベル取得にかかわる期間が短い	15人
無回答	1人



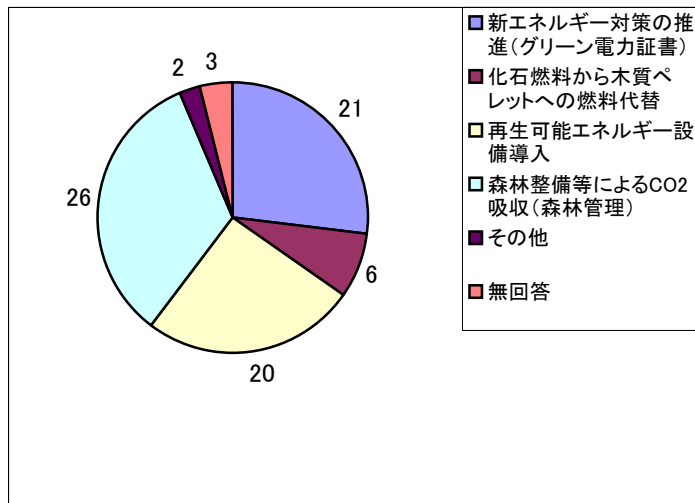
具体的には…

- 消費者の認識を高められるようなアプローチが必要。
- イベントでオフセットラベルを取得したいと考えたとき、短期間でないと企画から実施までの期間に余裕がなくなる。
- ブランド力。
- ラベルのありがたみ。

4. オフセット・クレジット(J-VER)制度が開始されることになりましたが、どのような温室効果ガス削減・吸収プロジェクトから出たクレジットに興味がありますか？

表 集計結果

新エネルギー対策の推進(グリーン電力証書)	21人
化石燃料から木質ペレットへの燃料代替	6人
再生可能エネルギー設備導入	20人
森林整備等によるCO2吸収(森林管理)	26人
その他	2人
無回答	3人



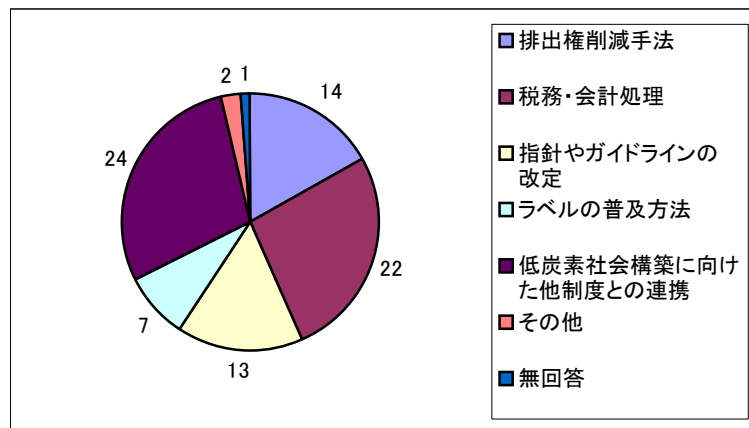
具体的には…

- 省エネ設備導入(まだ対象となっていないが)
- J-VETS
- 特に都市に残る森林(山林?)の取り扱い
- 木質ペレットの利用はまだまだかなり少ないのでは?「木材チップ」へ広げたほうが有効なシステムとしてはたらくと思う。
- 省エネ商品の買い替え。

5. 今年度のカーボン・オフセットフォーラムにおける課題別ワークショップは今回が最後となりますが、今後さらに検討すべき課題は何だと思えますか？(2つまで回答可)

表 集計結果

排出権削減手法	14人
税務・会計処理	22人
指針やガイドラインの改定	13人
ラベルの普及方法	7人
低炭素社会構築に向けた他制度との連携	24人
その他	2人
無回答	1人



具体的には

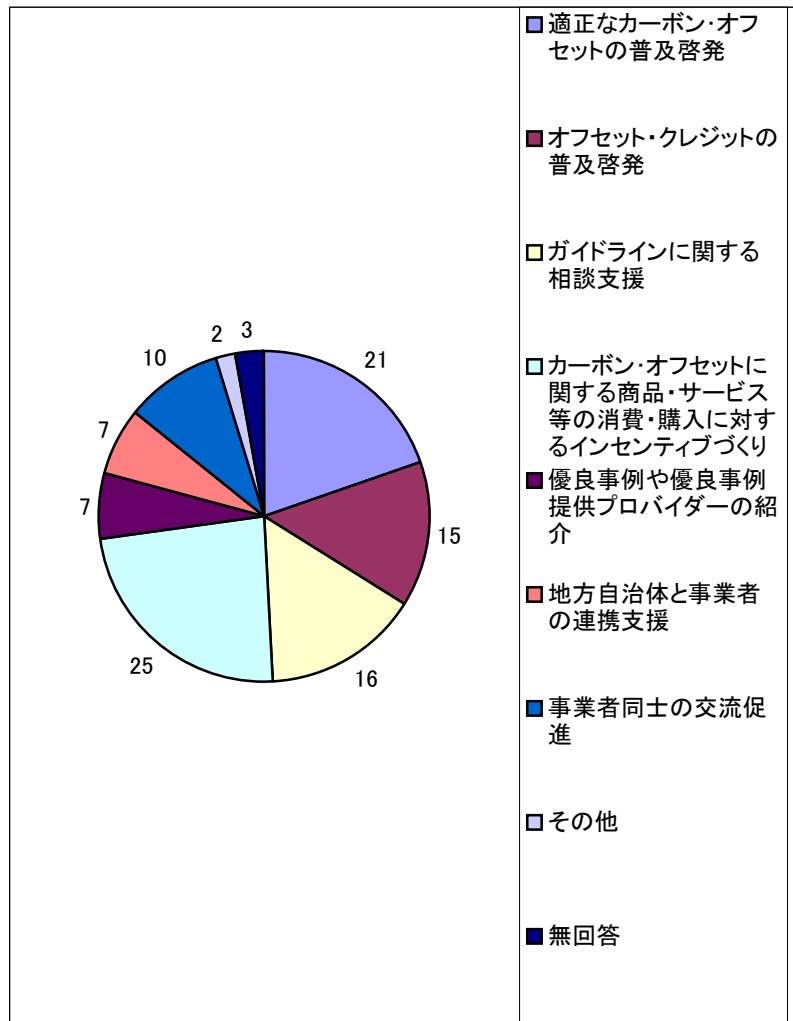
- 経済界をいれた議論。
- 京クレ以外の税務・会計処理の明確な指針がほしい。
- CF 制度との連携。
- オフセット量の算定方法。

- シンプルな制度の一元化。
- 排出権の取り扱いに関する法律。

6. カーボン・オフセットフォーラムに対する要望があればお聞かせください。(複数回答可)

表 集計結果

適正なカーボン・オフセットの普及啓発	21人
オフセット・クレジットの普及啓発	15人
ガイドラインに関する相談支援	16人
カーボン・オフセットに関する商品・サービス等の消費・購入に対するインセンティブづくり	25人
優良事例や優良事例提供プロバイダーの紹介	7人
地方自治体と事業者の連携支援	7人
事業者同士の交流促進	10人
その他	2人
無回答	3人



具体的には

- パイロット事業を公募(審査費用のみ補助)。

7. カーボン・オフセットフォーラムの活動に関し、ご意見・ご感想等、ご自由にご記入ください。

- リース会社の件で…企業、特に中小企業において車両は大半がリースだと思う。オフセットは所有者でなく、あくまで使用者であるべき。もちろんリース会社が「商品」としてオフセット付リースであれば別だが。
- 認定番号が出るのであれば、エンドユーザーにとっても身近なものになると思います。是非実現していただきたいと思いました。貴重な会に参加させていただきどうもありがとうございました。
- 今後様々なビジネスモデルについて相談させていただきたいと考えております。
- 初年度および次年度は申請にかかわる費用を補助しないと多くの参加者は望めない。諸費用をペイするにはどの程度のCO2削減が必要で、いくらで販売しなければならないか試算が必要。